

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）事後評価結果

大 学 名	立命館大学
整理番号	A①-8
事 業 名	東アジア人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 S	事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
コメント 本事業は、東アジア人文学リーダー養成を目的に日中韓で連携し、2ヶ国2週の移動キャンパスを軸に、中国語及び韓国語の2ヶ国語同時習得も目指す極めて挑戦的なプログラムである。 事業展開としては、プログラムへの参加学生の定員をパイロットプログラム時の2倍に増員し、新型コロナウイルスの感染拡大に対しても3大学連携でいち早く対応し、単位授与・認定を可能とするオンライン留学を実現している。この結果、事業開始年度から最終年度までどの年度も目標値に近い人数を派遣・受入し、立命館大学から参加した25名も含め、3大学全体で80名のキャンパスアジア・プログラム(CAP)修了生を輩出できている。移動キャンパスの学期を通常学期期間に合わせることで、より多くの科目が履修可能になっており、専用のCAP共同研究室の設置、ピアラーニングのためのCAPタンデム制度も整備し、中国語及び韓国語の習得も高いレベルで達成しており、十分な成果を挙げている。 質保証についても、3大学教職員合同会議、実務者会議、CAP教授会を設置し、綿密な運営や評価体制を築いている。共通の単位互換制度、3大学統一のGPAの継続運用、ラーニング・アグリーメントの整備、3大学共同修了証の発行といった、3大学共通の質保証の取組が実施されている点は高く評価できる。 一方で、各年度において発生している辞退者に関しては、引き続きプログラムを継続するに当たって、より根本的な原因の解明が望まれる。また、高いレベルでの2ヶ国語の同時習得が可能であることをCAP生の実数として示した画期的なプログラムであり、他大学でも応用できるようなかたちで、成果の発表や検証がなされていくことを切に希望する。 最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的な事業展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。	